

普及活動情勢報告（令和8年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

産地の課題を解決しよう ～JA高知県興津園芸部中間検討会～



3月23日、JA高知県興津園芸部が中間検討会を開催し、生産者23名、取引市場11社、関係機関15名が参加しました。

農業改良普及所は、温暖化、資材高騰といった産地の課題に対して、対策として夏期の高温対策やデータ駆動型農業の取組を説明しました。

生産者からは、「栽培コストが上昇している一方で、夏期の高温の影響で収量は減少傾向になる」との声があり、取組の必要性が理解されました。

農業改良普及所は、今後も関係機関と連携した営農支援を行います。

新しい品種はどうか？ ～JA高知県四万十ニラ部会青壮年部現地検討会～



4月13日、四万十町でJA高知県四万十ニラ部会青壮年部が現地検討会を開催し、生産者4名が参加しました。

農業改良普及所は、現地実証している新品种の生育や収量調査の中間報告、農業機械の事故防止についての啓発を行いました。

参加者からは、「新品种は対照品種より伸長性が優れ、ニラ1本が太くて良かった」「定植本数を増やしたら良いかもしれない」と活発な意見がありました。

農業改良普及所は、今後も生育調査を行いながら産地に適した品種を検討します。

セネガの栽培始まる ～セネガ巡回指導～



4月13日、四万十町のJA高知県十和支所セネガ研究会長のほ場で、JA営農指導員と発芽状況の確認を行いました。

農業改良普及所は、会長からの「べたがけの寒冷紗を外した方が良いか」との質問に、生育状況と気象予報をもとに寒冷紗を外す時期を説明しました。また、新規栽培者に初期の管理について理解してもらうため、セネガ研究会全戸でのほ場巡回を例年より早期に行うことを提案し、5月に実施することになりました。

農業改良普及所は、今後もセネガの安定生産に向けて指導します。

良質米の安定生産に向けて ～ J A高知県四万十エコ栽培米生産部会栽培検討会～



4月20日、J A高知県四万十エコ栽培米生産部会が栽培検討会を開催し、生産者13名が参加しました。

農業改良普及所からは、特別栽培農産物として栽培する上での化学肥料・農薬使用に関する注意点や、育苗管理における注意点について説明しました。

生産者からは、防除技術や栽培管理について活発な質問や意見が出されました。

農業改良普及所は、今後もJ Aと協力して良質米の安定生産を支援します。

夏秋ピーマンの生産振興 ～ J A高知県四万十夏秋ピーマン生産部会～



4月21日、J A高知県四万十夏秋夏秋ピーマン生産部会が出荷検討会及び栽培講習会を開催し、生産者19人が出席しました。

農業改良普及所からは、初期管理の注意点や病虫害防除について説明しました。

生産者からは、「今年は、天敵の利用も考えてみる」「試験の進捗について共有してほしい」といった意見が出ました。

農業改良普及所は、今後もJ Aと協力して支援を行い、夏秋ピーマンの生産振興をはかります。